

(訓練の目的)

災害発生時における住民の安否確認及び避難所への安全な避難誘導を図り、また住民自身に「身の安全は自ら守る」という自助の基本理念を促し、そして共助の核となる自主防災組織の地域に根ざした活動の充実と、災害対応力の向上を図る。

(訓練の方法)

①各丁自主防災会ごとの訓練

各丁で参加者を募り、自治会ごとに避難できる場所に集合して安否確認、家屋の損壊等の被災状況の把握、要援護者の状況確認等を行い避難者(参加者)を小学校まで安全に誘導する。【上履きの持参を広報して下さい】

タンカ・車椅子・リヤカー等の防災備品の取り扱い訓練も行う。

(災害概況報告書)を作成し、出発時にはトランシーバーにて小学校の本部に参加人数を報告する。

(災害概況報告書)は体育館到着時に本部に提出する。

訓練の開始時間については各丁にお任せします。

②学区自主防災会の訓練

9:20に小学校に到着後、体育館に入り各丁毎に指定の場所に着席する。

訓練内容は(運営次第)に記載の通りです。

時間の関係もあり実技講習は二種類としました。できるだけ参加者に実技講習を受けて頂くようにしたいと思いますが見学のみとなる方も多いためですのでご了承ください。

今回は(豚汁炊き出し訓練)は実施しません。

訓練内容は目新しいものではありませんが先日の防災士会議にて皆様のご意見をお聞きしたうえで西分署と協議した結果ですのでご了承ください。

住民の皆様の防災意識を高め、近隣住民と共に実際に避難行動を共にすることも訓練の大切な目的ですので積極的に参加勧誘をお願い申し上げます。

(前日の準備)

11月11日(土)13時から体育館にて準備作業を行いますので「各丁より最低2名」のお手伝いをお願いします。

「敷物を敷く・エクセルを設置する・大津市防災倉庫備品の搬出、組み立て(仮設トイレ・簡易トイレ・テントなど)・大津市より提供の段ボールベッド、間仕切りの組立など。」

以上

参考 平成30年7月西日本豪雨災害で総社市の1部地区の防災組織が、高齢者等避難開始情報で

住民に2階への避難の連絡を実施。

22時市内全域に緊急避難指示発表で、住民350名全戸避難済を確認した事でした。

3メートルの浸水、浸水による工場爆発の飛散物や火災発生での死者、負傷者等ゼロを達成した。全総社市被災は死者10人、負傷者38人でした。

この防災活動から日頃の地域住民の防災意識(自助)と組織(共助)の大切さが再認識された。

大津市民34万人を市職員3千人で、市職員1人が市民114人を救助する公助となり

心細い数字です。大津市は南海トラフ大地震の予想や温暖化での災害多発から

令和3年より地域防災力強化(地域の団体すべての協力を)を目指し令和5年度迄に26学区

の指導を行い、次年度から日吉台学区を含む残り10学区の指導が始まります。

日時: 令和5年11月12日(日)日吉台小学校体育館にて実施 【雨天決行】

「8:00～」各丁自治会にて

住民の安否確認、被災状況の把握、要援護者の状況確認の訓練実施
避難誘導訓練準備、(タンカ・車椅子・リヤカー等による搬送訓練も実施)

「9:00」各丁より小学校体育館へ出発

出発時にランシーバーにて小学校本部に避難者数を報告

「9:20」体育館に集合・エクセルに着席

災害概況報告書を作成、体育館にて本部に提出

「9:30」学区自主防災会会長挨拶

初動支所班・大津市職員・消防分団地域防災指導員・防災士の紹介
当日の訓練内容の説明

「9:35」西分署署長挨拶・注意事項の説明

「9:40～10:00」署長による講話(テーマは追って連絡します)

「10:00～10:40」(1班)救急救命講習(心肺蘇生法・AED取り扱い・応急手当)
(2班)消火器取り扱い講習

「10:40～11:20」上記を入れ替えて実施

(各講習時間は移動時間も含めており正味30分程度の講習)

「11:20～11:30」体育館内に陳列した防災用品の説明(エクセルに着席の状態)
(段ボールベッド・間仕切り・仮設トイレ・簡易トイレ・テント等)
訓練終了後にそれらを見学して退出してもらう

「11:35～11:40」西分署署長より講評

学区自主防災会会長閉会挨拶

以上